

サーキュラ都市・薩摩川内市 の実現に向けた挑戦

薩摩川内市 市長 田中良二



薩摩川内市の概要



- 位置 **薩摩半島北西部**
- 自然 国定公園 甑島（こしきしま）
一級河川「川内川」流域
ラムサール条約登録湿地 蘭牟田池
- 人口 **92,403人** 40,995世帯（2020年国調）
- 面積 **682.92km²**（本土565.88km²・甑島117.04km²）

- 九州新幹線
鹿児島中央駅～川内駅 **最速11分**
博多駅～川内駅 **最速1時間8分**
新大阪駅～川内駅 **最速3時間38分**
- JR（在来線）
川内駅～鹿児島中央駅 約50分
- JR・肥薩おれんじ鉄道
川内駅～八代駅 約2時間30分
- 自動車
薩摩川内市～鹿児島空港 約60分
薩摩川内市～鹿児島市内 約40分
- 飛行機
東京～鹿児島空港 約95分
名古屋～鹿児島空港約75分
大阪～鹿児島空港 約65分
沖縄～鹿児島空港 約80分



主な経済トピック



① 京セラ(株)鹿児島川内工場の拡張

- ・ 第23工場（国内最大）の増設

② 土地開発事業

- ・ 川内港久見崎みらいゾーン（16.7ha）
- ・ 高城産業用地（10ha）
- ・ 瀬ノ岡用地（1ha）

③ サーキュラーパーク九州事業

- ・ 2024年4月操業開始



高城産業用地



京セラ(株) 第23工場



サーキュラーパーク九州(株)の工場



久見崎みらいゾーン

3

循環経済・産業拠点の創出 ～川内港臨海ゾーン整備～



アクセス道路の整備促進

新たな・大きな人流、物流、経済好循環の創出

① 重要港湾川内港

- ・ 唐浜ふ頭整備、ポートセールス
- ・ 港湾脱炭素化推進計画

② 南九州西回り自動車道 阿久根川内道路

- ・ 薩摩川内水引IC～湯田西方IC（仮）の供用
- ・ 大川IC（仮）～ 湯田西方IC（仮）の用地調査開始

③ 川内宮之城道路



川内港臨海ゾーン整備

4

川内港唐浜地区国際物流ターミナルの整備



国際物流拠点として産業を創出する港づくり

【事業期間：2021～2027年度、総事業費：160億円】

川内港港湾脱炭素化推進計画の策定（2024年3月）※鹿児島県内初



唐浜ふ頭の整備状況（2023年10月）

2025年度末 暫定供用開始
2027年度末 供用開始



5

「サーキュラー都市・薩摩川内市」に取り組む意義



●自治体スタートアップ！

持続的な発展を目指す「サーキュラー都市・薩摩川内市」実現の意義

- ① 少子・高齢化対策
- ② 人口減少に伴う縮小経済への対応
- ③ SDGs・カーボンニュートラルの実現

●サーキュラーパーク九州に取り組む意義

- ① 川内火力発電所跡地の利活用
（雇用、次世代エネルギーへの変換）
- ② 原子力発電所立地市としての産業の多様化
（地域・研究・人材育成連動型の循環経済産業育成）
- ③ 重要港湾川内港の物流ポテンシャルの活用
（経済のグローバル展開）



6

サーキュラーパーク九州構想(動画)



1974年 火力発電タービン一号機が完成してから

7

サーキュラーパーク九州の主な事業



2024年4月操業開始

① リソーシング事業



廃棄物を高いレベルで再資源化。
廃棄物削減、リサイクル化、脱炭素化を提案

- ・マテリアルリソーシング
- ・リマーケティングセンター
- ・再生可能エネルギー拠点化
- ・物流拠点
- ・カーボンニュートラルポート

相互
連携

2024年4月操業開始

② ソリューション事業



産官学のネットワークを生かした研究開発や
コンサルティングを実施

- ・カンファレンス / シンポジウム / イベント
- ・研究開発、新事業、技術創出の協業
- ・実証実験の実施
- ・研修 / 教育プログラムの実施

③ 体験事業



来訪者や市民向けのサービスを提供。

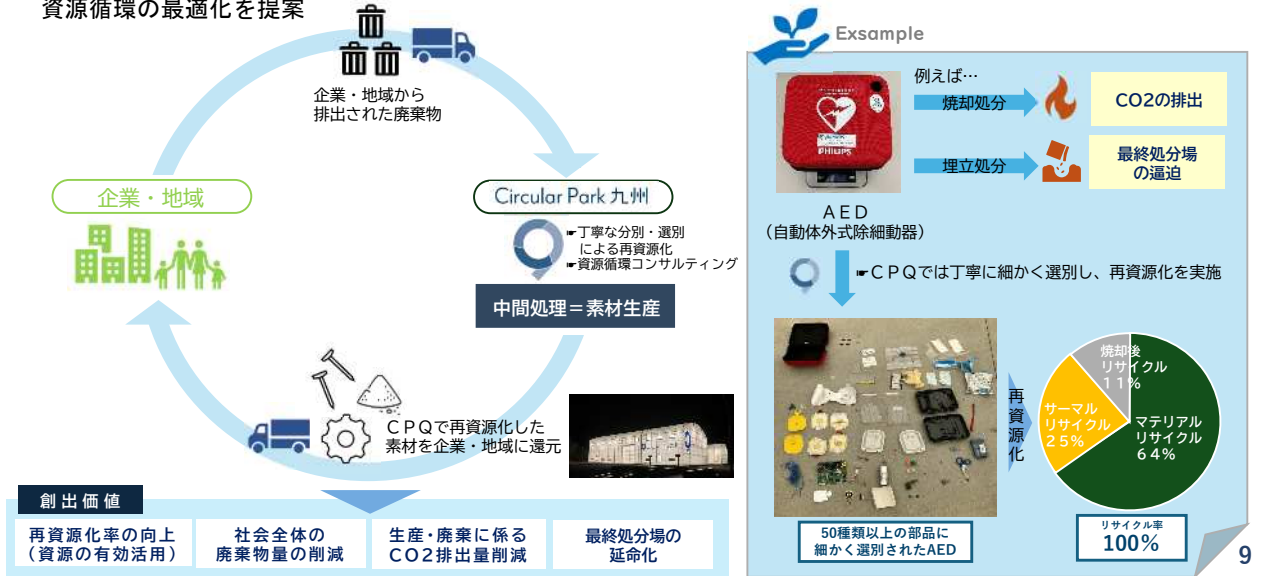
- ・ワークショップ
- ・キッズ向けプログラム
- ・公園
- ・飲食 / 物販施設
- ・宿泊施設

8

リソーシング事業



- ・企業や地域の廃棄物を丁寧に分別・選別し、中間処理することで、高レベルで再資源化を実現
- ・コンサルティング（最適な分別方法、運用サポート、再資源化を見据えた製品設計等）により、資源循環の最適化を提案



ソリューション事業



CPQに参加している企業・大学や研究機関・行政と共に、
資源循環に関する様々な課題を最適な体制と手法によりワンストップで解決



資源循環コンサルティング

研究開発、新事業、技術創出の協業

資源循環の実証実験

研修・教育プログラム企画

リマーケティングセンター



サーキュラーキャンパス構想



時代の変化に適応した循環ビジネス教育の提供

ex. マーケティングのフレームワークの常識 3C→4C視点で差別化



ex. ビジネスマンに必要な視点 MBA→MFA→次にくるのはMCA?



〔イメージ〕

MCAの取得

地元の高校生や小中学生
向けの教育プログラム

これらの教育が受けられる場、知見共有の場

**CIRCULAR
CAMPUS**

循環ビジネススクール
Circular Business School

MCAより
ライトなプログラムも

参加企業・団体は
「先生」であり「生徒」



児童・生徒・教職員向け
研修プログラム(今年度開始)

11

将来構想 (2030年)

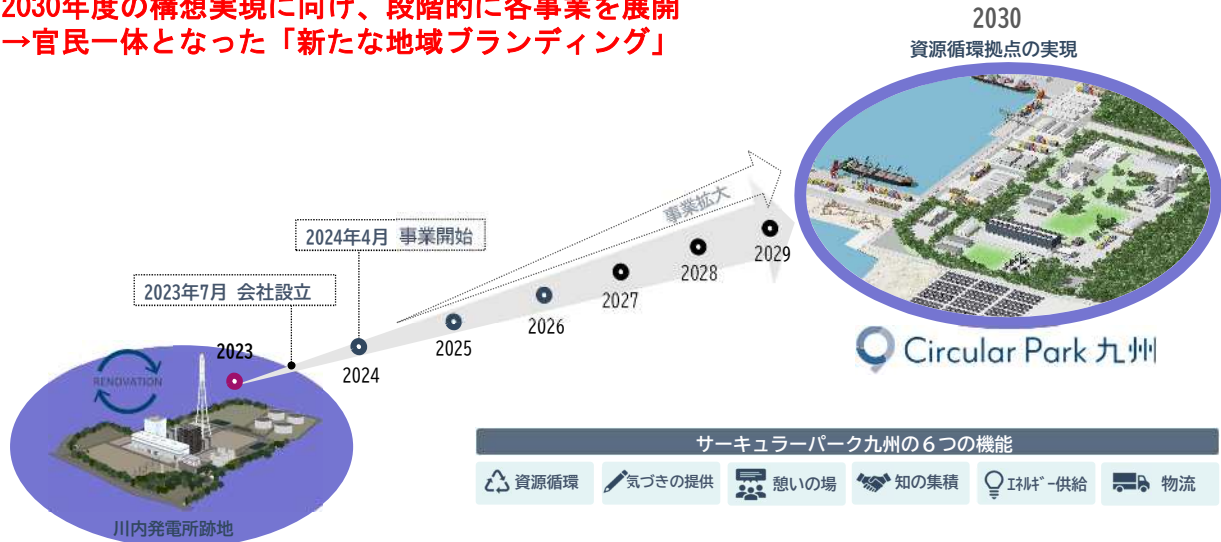


12

ロードマップ



サーキュラーパーク九州(株)では、九州電力(株)、(株)ナカダイホールディングスと協働し、
2030年度の構想実現に向け、段階的に各事業を展開
→官民一体となった「新たな地域ブランディング」



13

サーキュラーパーク九州の可能性



- 交流・関係人口の増加、地方創生・地域活性化の実現
- CEの自治体モデルのグローバル展開



14



質疑用資料

資源循環を推進する上での課題



① 産業廃棄物の広域サプライチェーン構築

- サークュラーエコノミーの実現のためには、「規模の経済」の考え方から、産業廃棄物処理の広域的なサプライチェーン構築が必要。
- 現状、都道府県の指導要綱等において、域内処理・廃棄が基本とされており、域外からの収集・運搬が困難。
- 廃棄物を「素材」と捉えた新たな価値観・考え方が必要。

② 太陽光パネルのリサイクル手法・ルートの確立

- 鹿児島県は、全国で5番目に太陽光発電所が多く、固定価格買取制度終了後に膨大な量の太陽光パネルが廃棄見込み。
- 山林への放置等の不法投棄や自治体の最終処分場の圧迫への懸念
- リサイクルには太陽光パネルの構成部品の分離技術確立、経済合理性の確保の難しさがあり、民間の取組だけでは困難。リサイクルの義務化や放置・不法投棄対策に資する仕組みや制度の環境整備が不可欠。

③ サークュラーパーク九州構想に対する伴走的な支援

- 本構想は、リソーシング事業とソリューション事業の両立と新たな地域ブランディングを大きな特徴としているが、構想の実現や産官学連携の研究開発等のためには、国県による伴走的な支援が必要。

17

以下、参考資料

18

サーキュラーパーク九州 主な連携協定



- 令和4年7月 サーキュラーパーク九州構想の実現に向けた5者協定
(九州電力(株)、早稲田大学、(株)鹿児島銀行、
(株)ナカダイホールディングス、薩摩川内市)
- 令和5年7月 サーキュラーパーク九州(株)設立、薩摩川内市と立地協定
- 令和6年2月 サーキュラーエコノミー実証事業の推進に向けた連携協定
(鹿児島大学、九州電力(株)、薩摩川内市)
- 令和6年2月 日本通運(株)とのパートナーシップ協定
- 4月 城山ホテル鹿児島とのパートナーシップ協定
- 5月 A L S O K鹿児島総合警備とのパートナーシップ協定

19

チーム薩摩川内の取組み

●市民一人一人がSDGsや資源循環に取組む機運を醸成し、行動変容へつなげる

薩摩川内市SDGs チャレンジ推進協議会



市内外29団体が参画し連携強化
相乗効果により取組みを加速する

薩摩川内SDGs チャレンジパートナー制度



市内のSDGsの取組みを
見える化し、活性化

SDGs絵画コンクール



フードロス
「悲しい現実」
小中学生へのSDGsの啓発

SDGs出前講座 (地域おこし協力隊)



行動実践者掘り起こし

市民勉強会/教職員向けWS/市職員研修会



SDGsを
「知り→考え→伝える」きっかけの場を提供

SDGsチャレンジシンポジウム



市民とSDGsについて考える場

SNSでのプロモーション



Instagram

Youtube

20

SDGsイノベーショントライアルサポート事業

- 薩摩川内市のフィールドを、先端技術等を活用した実証実験の場として提供
(全国から公募中)



- ・地域や関係者との調整等
- ・実証実験の広報等PR支援

事業名	事業者名	支援期間
USED RELAY リユース品回収拠点の設定によるごみの減量化実証実験	(株) ECCOMIT	令和4年7月1日 令和5年6月30日
KA・RA・I・MO基腐病対策ドローン実証実験プロジェクト	(株) エアリアルワークス	令和4年7月1日 令和4年11月30日
身体の入口から始める口腔機転の「虚弱のない世界」	歯っぴー (株)	令和4年7月19日 令和5年3月31日
甌島地域ドローン物流実証実験	甌島地域ドローン物流コンソーシアム	令和5年2月20日 令和5年2月28日
トイレタリー製品のプラスチック包装容器の資源循環促進に向けた分別回収モデルの実証実験	花王 (株)、 (株) ナカダイ	令和5年4月1日 令和6年3月31日
廃棄アルミ鍋類を利用した、鍛金造形	樋脇精工 (株)	令和5年11月1日 令和6年4月30日
廃食油資源循環促進に向けた分別回収モデルの実証実験	サーキュラーパーク九州 (株)	令和5年11月1日 令和6年4月30日
統合気象データを用いた洪水予測の高精度化	九州大学	令和5年10月18日 令和8年3月31日

21

SDGsイノベーショントライアルサポート事業

- トイレタリー製品のプラスチック包装容器の資源循環促進に向けた分別回収モデルの実証実験 (花王(株)、(株)ナカダイホールディングス)



現状：燃料として利用
目指す姿：水平リサイクル化

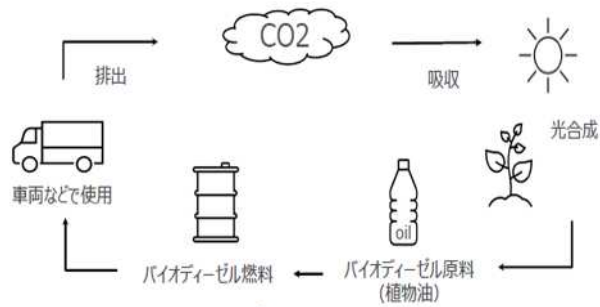


自治体ルートで分別回収し、
量や洗浄度等を調査

22

SDGsイノベーショントライアルサポート事業

●廃食油の資源循環促進に向けた分別回収モデルの実証実験 (サーキュラーパーク株式会社)



現状：廃食油の9割がそのまま焼却処分
目指す姿：バイオディーゼル燃料へ

自治体で回収し、品質を調査